

2015年3月期 2Q 決算説明資料



ヤマシンフィルタ株式会社
〈証券コード6240〉
2014年11月20日

1.2015年3月期 第2四半期業績 P.2

2.下期取組と通期業績予想 P.11

【参考資料】

1. 会社並びに事業概要 P.23

2. 財務ハイライト P.32

1.2015年3月期 第2四半期業績

- 10月8日に東証2部に上場。
- 売上・損益
 - 1) 売上高は前年同期比▲0.4%減収の5,473百万円
 - 2) 営業利益は前年同期比▲8.6%減益の563百万円
 - 3) 純利益は前年同期比▲10.2%減益の373百万円
- セグメント状況
 - 1) 地域別セグメントの状況
 - ① 日本では継続した公共投資により一部に明るさは見られるものの住宅着工戸数の減少や排ガス規制に伴う駆け込み需要の反動により売上は前年同期比を下回る
 - ② 北米や欧州では回復基調にある住宅着工戸数の増加に伴い堅調に推移
 - ③ 中国では不動産投資減速に伴い建設需要が後退
 - 2) ライン品・補給品別セグメント状況
 - ① ライン用フィルタは主に中国市場の需要減速により売上高が前年同期比▲4.4%減収
 - ② 補給品の売上高は新車販売減に影響を受けず対前年同期比+4.5%増収
 - 3) その他売上
 - ① プロセス製品は、得意先各社の在庫調整の影響を受け、売上高が減少しており、前年同期比▲8.2%減収
- 為替変動の影響
急激な円安基調で迎えた上期において、グループ内の通貨マリーによる持ち高調整により事業収益に与えた為替の影響は約3百万円の評価損と極めて軽微であった
- 通期業績予想は変更せず。

- 国内・米国は好調だが、中国市場の低迷により14.3期に比べて若干減収・減益

(単位:百万円)	2014/3期 第2四半期累計	2015/3期 第2四半期累計	増減	
			金額	%
売上高	5,493	5,473	△ 19	△0.4%
売上総利益	2,405	2,369	△ 35	△1.5%
売上総利益率	43.8%	43.3%	△0.5P	—
販売管理費	1,788	1,805	17	1.0%
販管比率	32.6%	33.0%	0.4P	—
営業利益	616	563	△ 52	△8.6%
営業利益率	11.2%	10.3%	△0.9P	—
経常利益	599	563	△ 36	△6.1%
経常利益率	10.9%	10.3%	△0.6P	—
四半期純利益	416	373	△ 42	△10.2%
純利益率	7.6%	6.8%	△0.8P	—

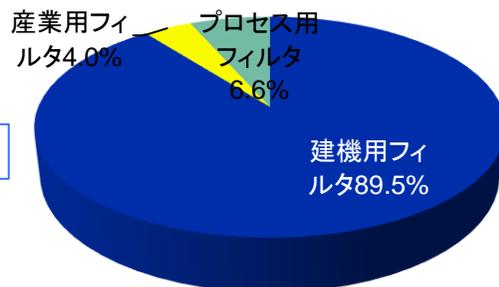
* (14.3期実績は比較の為、未監査2Q実績であります)

■ 中国市場低迷によりライン品売上減少するも、補給品売上でカバー

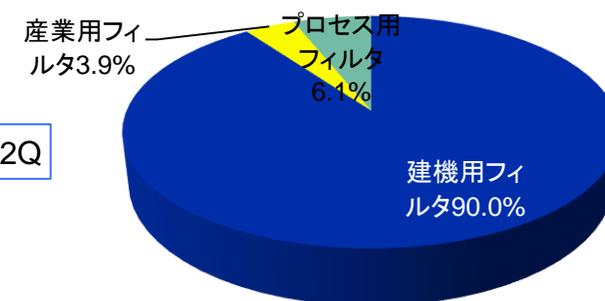
(単位:百万円)	2014/3期 第2四半期		2015/3期 第2四半期		前年同期比	
	金額	%	金額	%	金額	%
建機用フィルタ	4,913	89.5%	4,928	90.0%	14	0.3%
ライン品	2,320	42.2%	2,218	40.5%	△ 101	△4.4%
補給品	2,593	47.2%	2,709	49.5%	116	4.5%
産業用フィルタ	217	4.0%	213	3.9%	△ 4	△2.1%
プロセス用フィルタ	361	6.6%	332	6.1%	△ 29	△8.2%
売上高合計	5,493	100.0%	5,473	100.0%	△ 19	△0.4%

セグメント別
売上高構成比

2014/3 2Q



2015/3 2Q

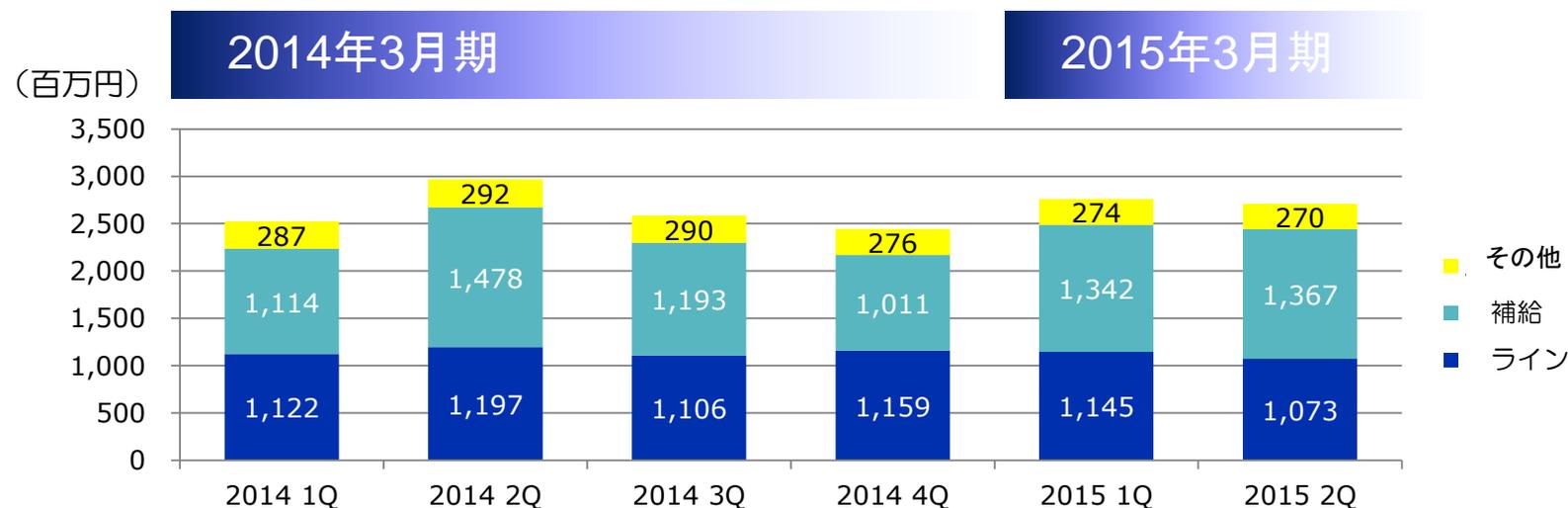


* (14.3期実績は比較の為、未監査2Q実績であります)

■ 補給品売上は15.3期 第1Q、第2Qを通じて安定的に推移

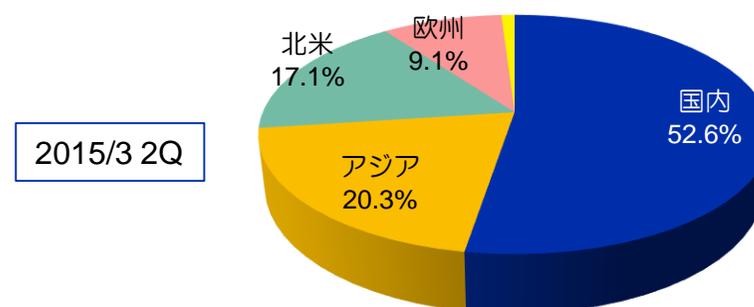
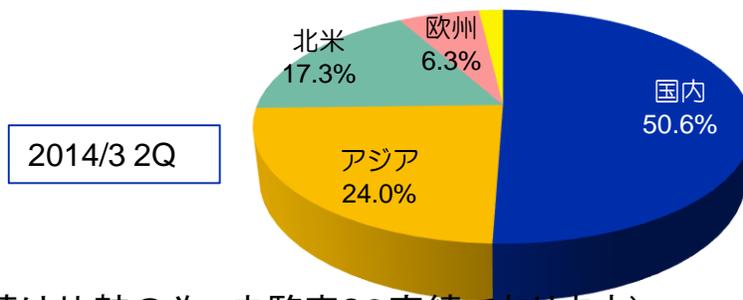
<四半期業績推移>

	2014年3月期				2015年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
建機用フィルタ	2,237	2,675	2,300	2,170	2,487	2,440
ライン品	1,122	1,197	1,106	1,159	1,145	1,073
補給品	1,114	1,478	1,193	1,011	1,342	1,367
その他	287	292	290	276	274	270
合計	2,524	2,968	2,590	2,446	2,761	2,711



■ 中国市場低迷の影響によるアジア向け売上減少、国内、欧州は好調

(単位:百万円)	2014/3期 第2四半期		2015/3期 第2四半期		前年同期比	
	金額	%	金額	%	金額	%
国内	2,777	50.6%	2,878	52.6%	101	3.7%
アジア	1,319	24.0%	1,110	20.3%	△ 209	△15.9%
北米	949	17.3%	933	17.1%	△ 15	△1.7%
欧州	344	6.3%	496	9.1%	151	44.1%
その他	102	1.9%	54	1.0%	△ 47	△46.5%
売上高合計	5,493	100.0%	5,473	100.0%	△ 19	△0.4%

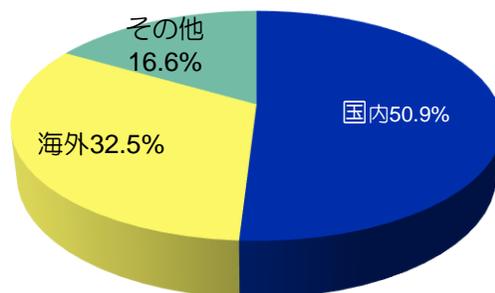


* (14.3期実績は比較の為、未監査2Q実績であります)

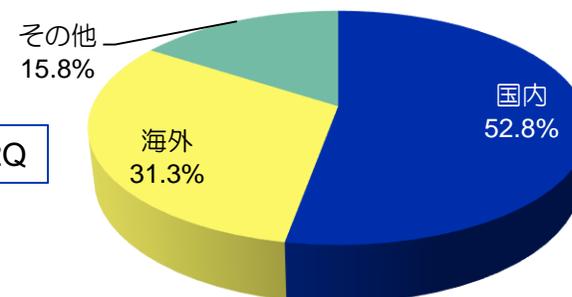
■ 中国市場低迷、前期特需の影響により海外向け得意先減少も国内向けは増

(単位:百万円)	2014/3期 第2四半期		2015/3期 第2四半期		前年同期比	
	金額	%	金額	%	金額	%
国内メーカー	2,798	50.9%	2,892	52.8%	93	3.4%
ライン	993	18.1%	1,012	18.5%	19	1.9%
補給	1,804	32.9%	1,879	34.3%	74	4.1%
海外メーカー	1,783	32.5%	1,714	31.3%	△ 68	△3.9%
ライン	1,021	18.6%	926	16.9%	△ 94	△9.3%
補給	761	13.9%	787	14.4%	25	3.4%
その他	911	16.6%	866	15.8%	△ 44	△4.9%
売上高合計	5,493	100.0%	5,473	100.0%	△ 19	△0.4%

2014/3 2Q



2015/3 2Q

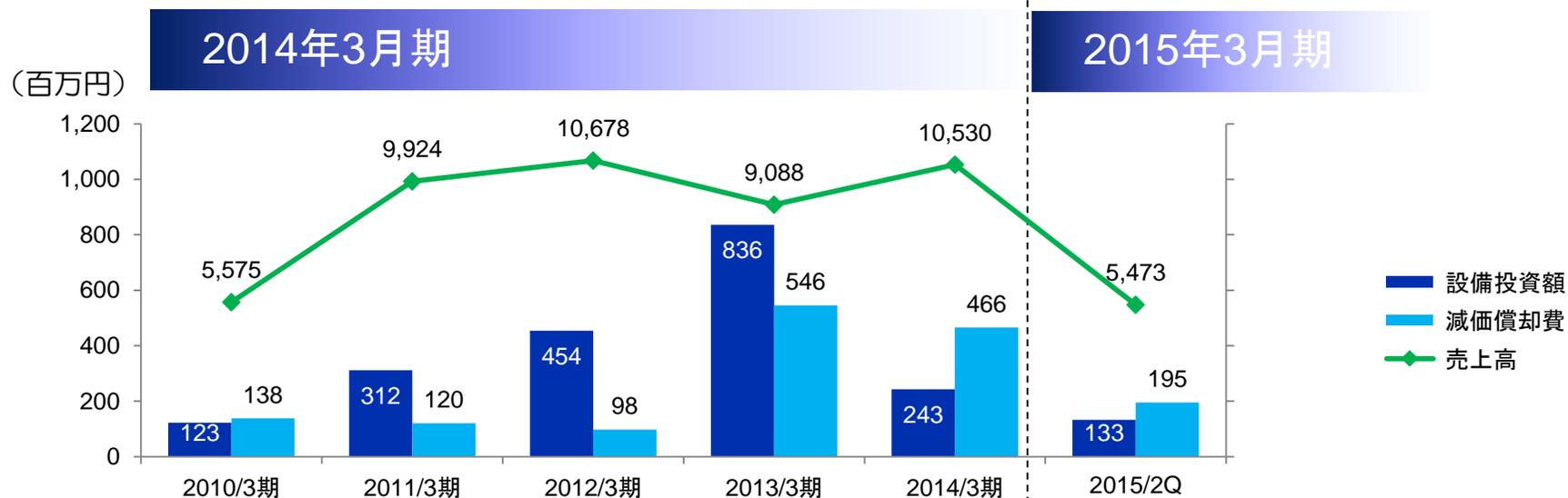


* (14.3期実績は比較の為、未監査2Q実績であります)

年度別業績推移(設備投資及び減価償却費推移)

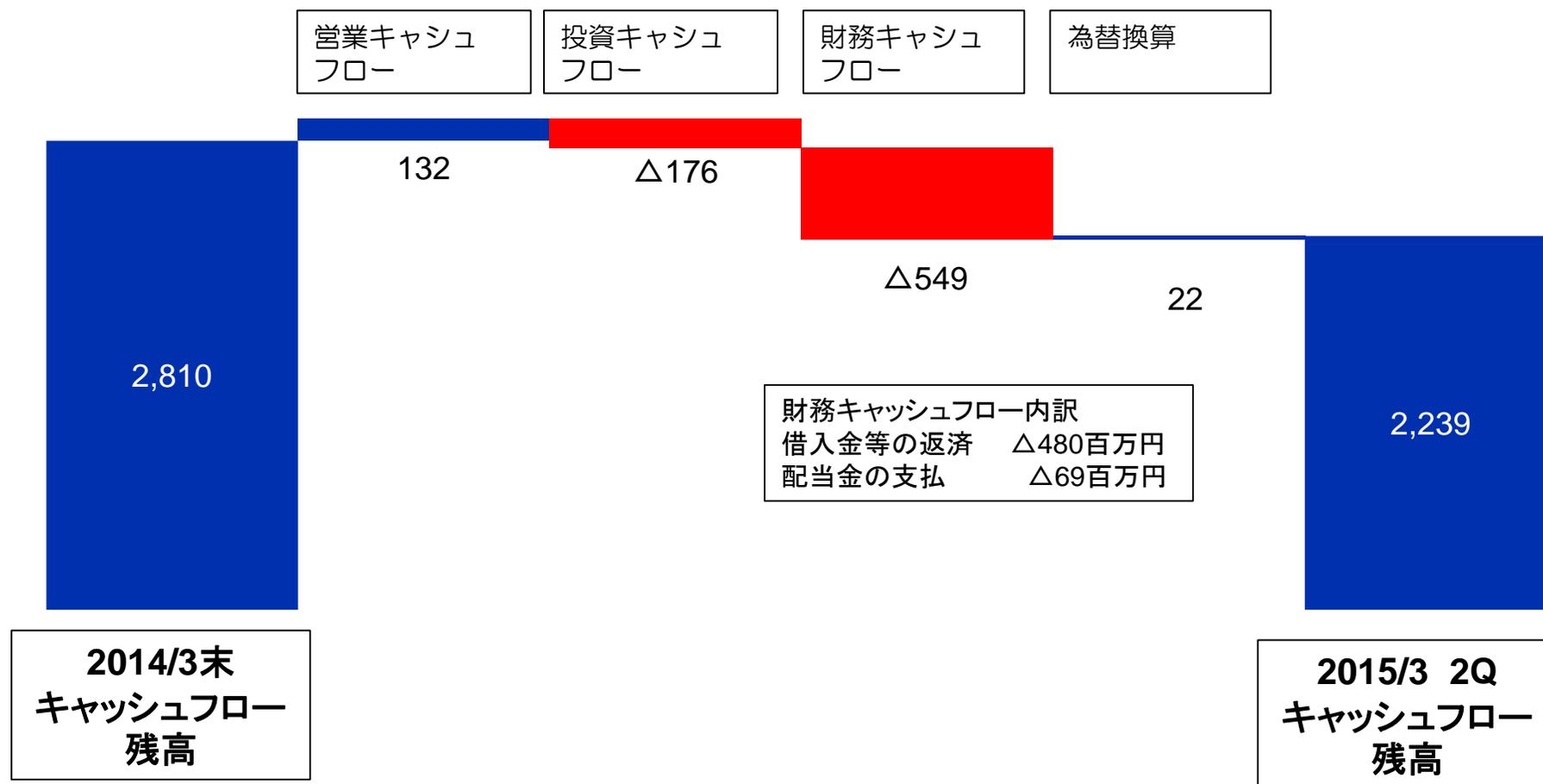
■ 売上高に対し、設備投資額は2%、減価償却額は4%で推移する見込み

(単位：百万円)	2010/3期 単体	2011/3期 単体	2012/3期 単体	2013/3期 連結	2014/3期 連結	2015/2Q 連結
売上高	5,575	9,924	10,678	9,088	10,530	5,473
設備投資額	123	312	454	836	243	133
対売上比	2.2%	3.1%	4.3%	9.2%	2.3%	2.4%
減価償却費	138	120	98	546	466	195
対売上比	2.5%	1.2%	0.9%	6.0%	4.4%	3.6%



■ 有利子負債圧縮により、現金及び現金同等物の残高が減少

(単位:百万円)

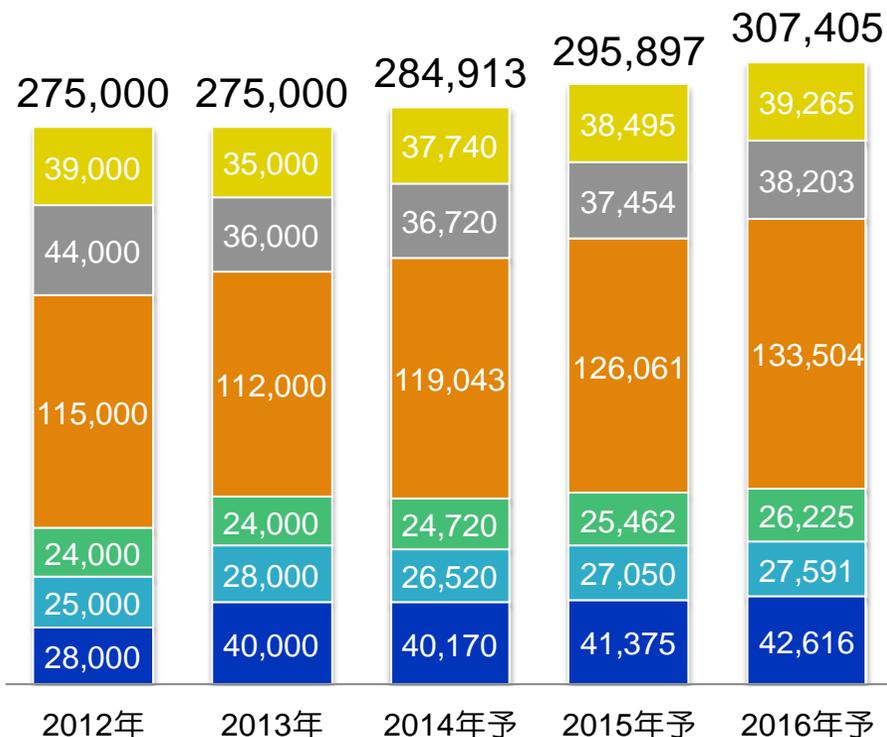


2.下期取り組みと通期業績予想

■ 事業環境は堅調で、環境規制により要求される性能は高くなる傾向にある

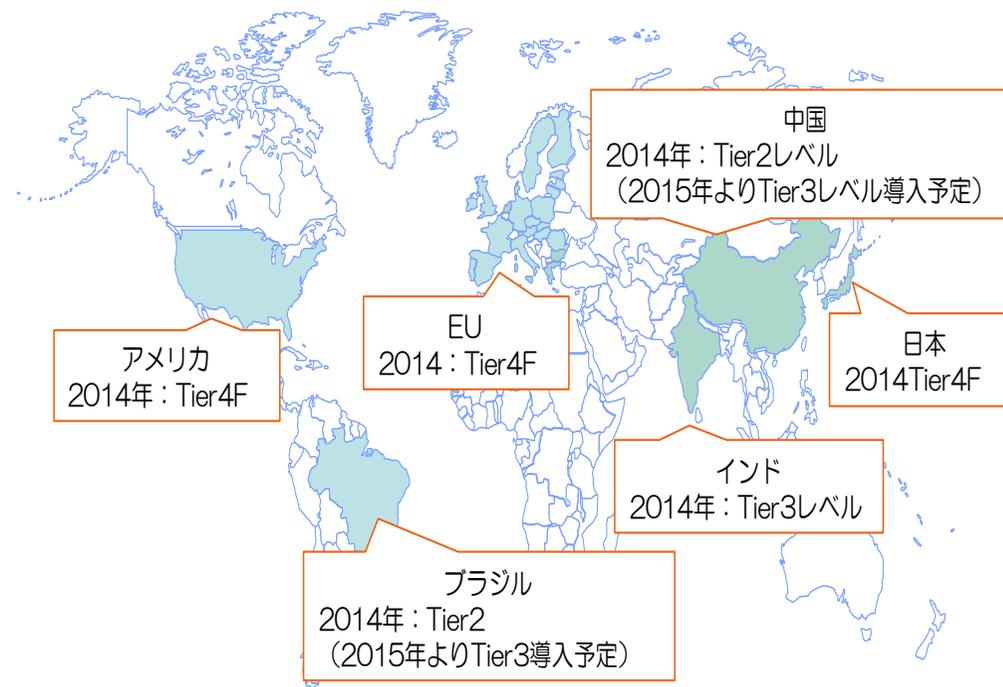
油圧ショベルの新車需要推移(台)

■ 日本 ■ 欧州 ■ 北米 ■ 中国 ■ アジア・太平洋 ■ その他



出所)各種公表情報から当社推計

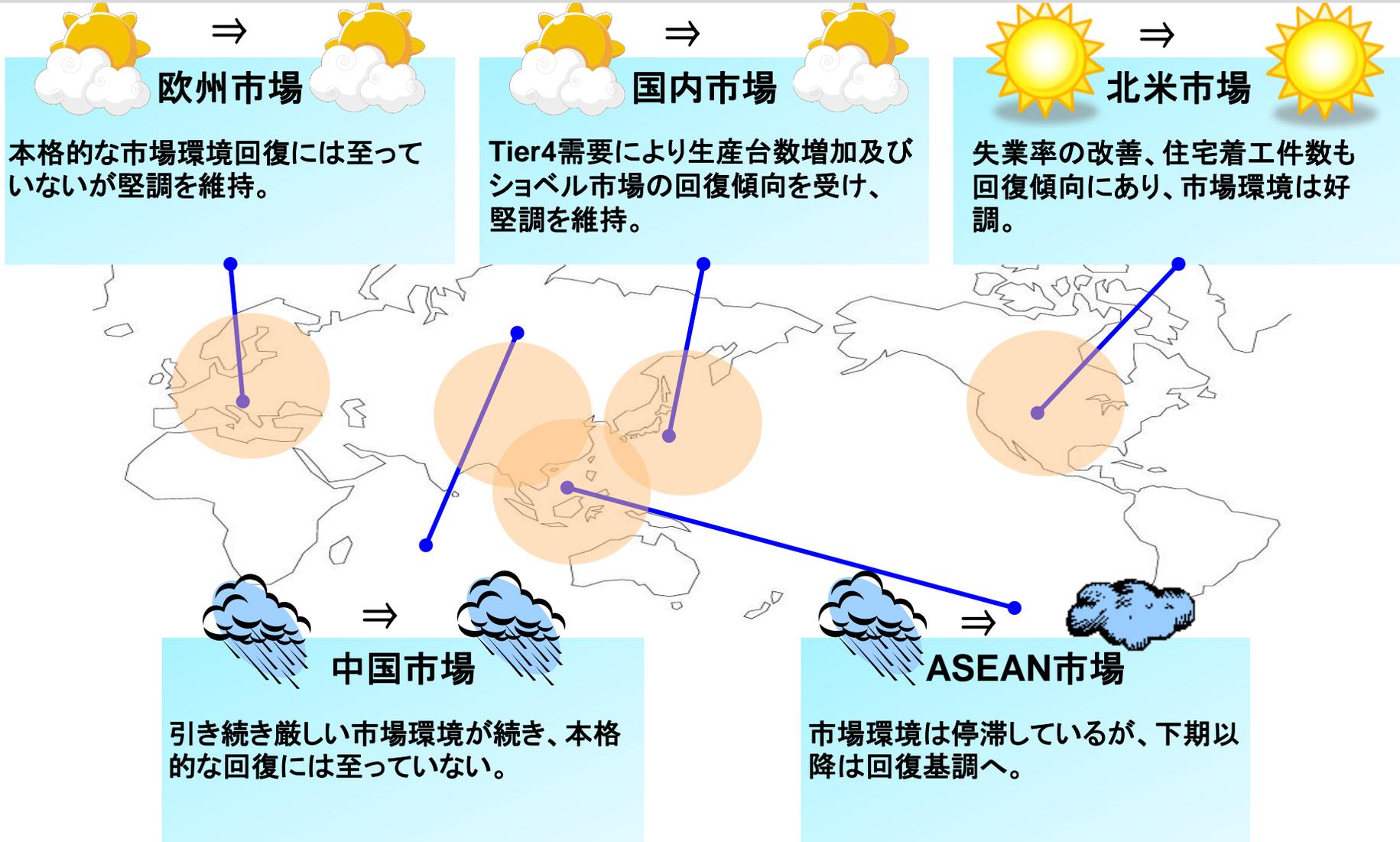
地域別 排ガス規制の状況



出所)経産省(産業構造審議会)2013年6月度報告書

排ガス規制: 大気汚染対策として、排出ガスの汚染物質を制限する規制

■ 北米、欧州、国内は堅調を維持、中国、ASEANは停滞



■ 油圧フィルタ分野の更なる深耕

(1) 建機メーカーとの強固なリレーションシップによる基盤固め

- ① 既存取引先に対するライン採用の維持・向上
- ② 中国地場メーカーと取引を行うことによる潜在需要の掘り起こし
- ③ 包括的サービス体制強化による米国大手建機メーカーとの取引拡大

(2) アフターマーケットでの収益力強化

- ① ライン採用率向上による補給部品の販売拡大
- ② 新興国における純正率向上

■ 油圧フィルタ周辺分野への拡大

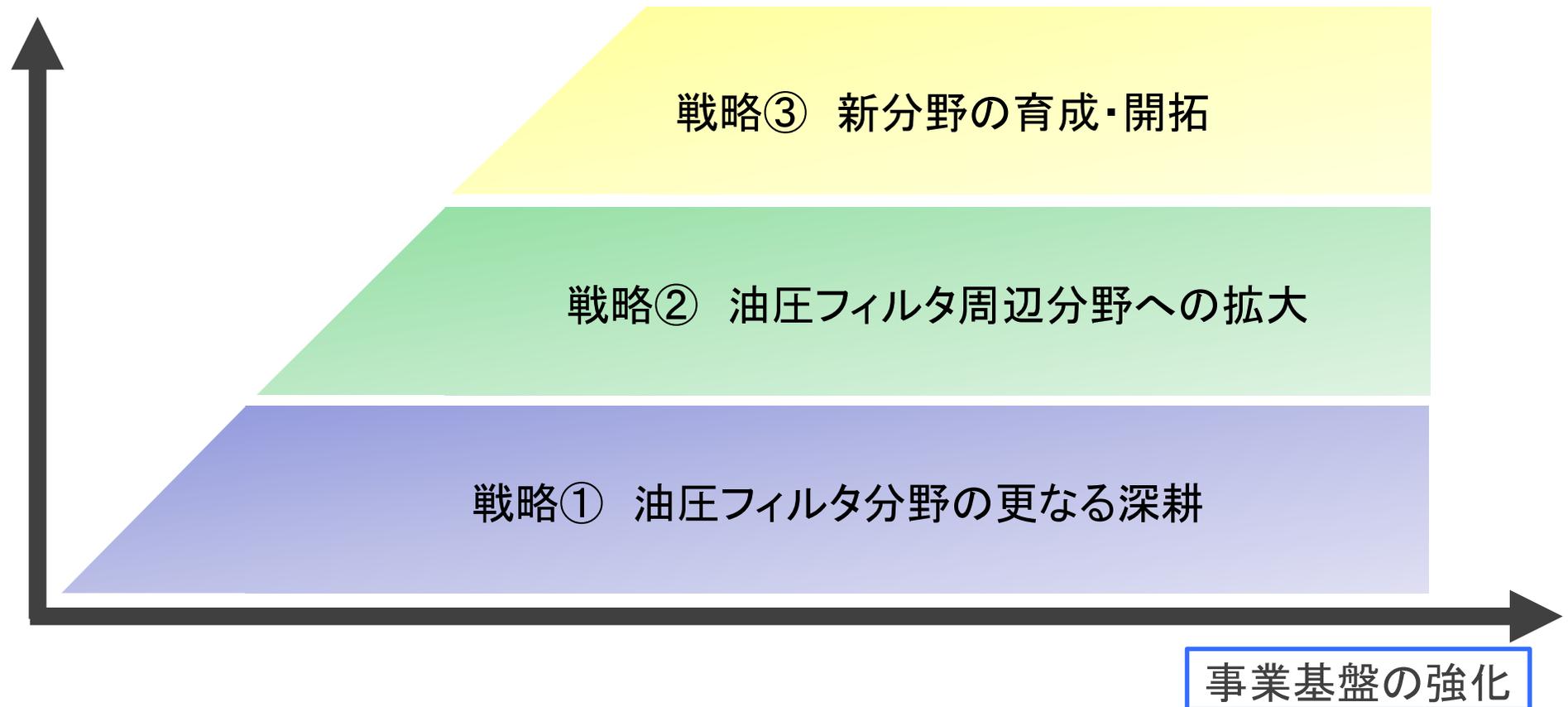
(1) 周辺分野への拡大策として燃料用フィルタを展開

■ 新分野の育成・チャレンジ

(1) 引き続き、研究開発の推進を行う

- 3つの戦略については継続して実施

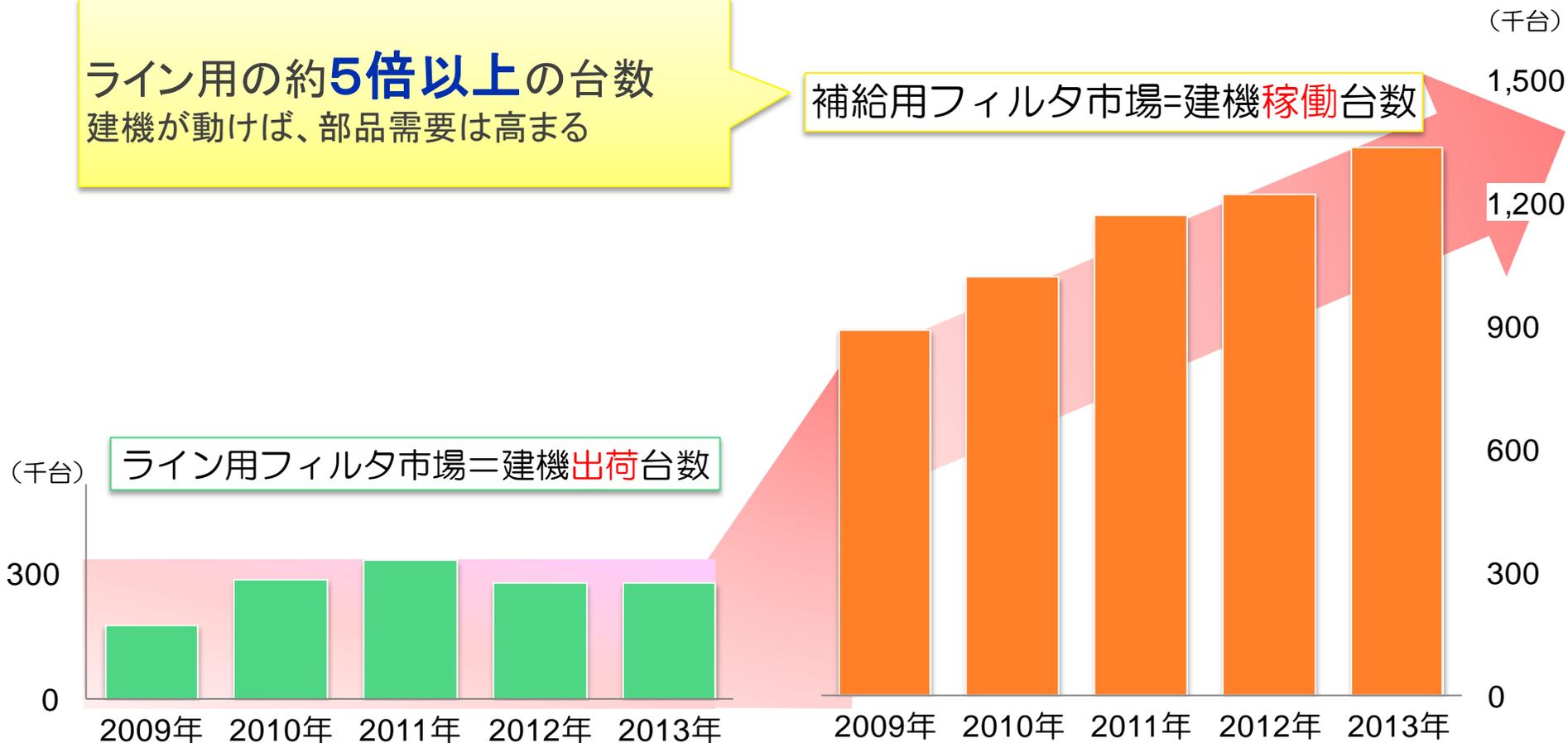
業容の拡大



■ アフターマーケットでの収益力拡大を図る

ライン用の約**5倍以上**の台数
建機が動けば、部品需要は高まる

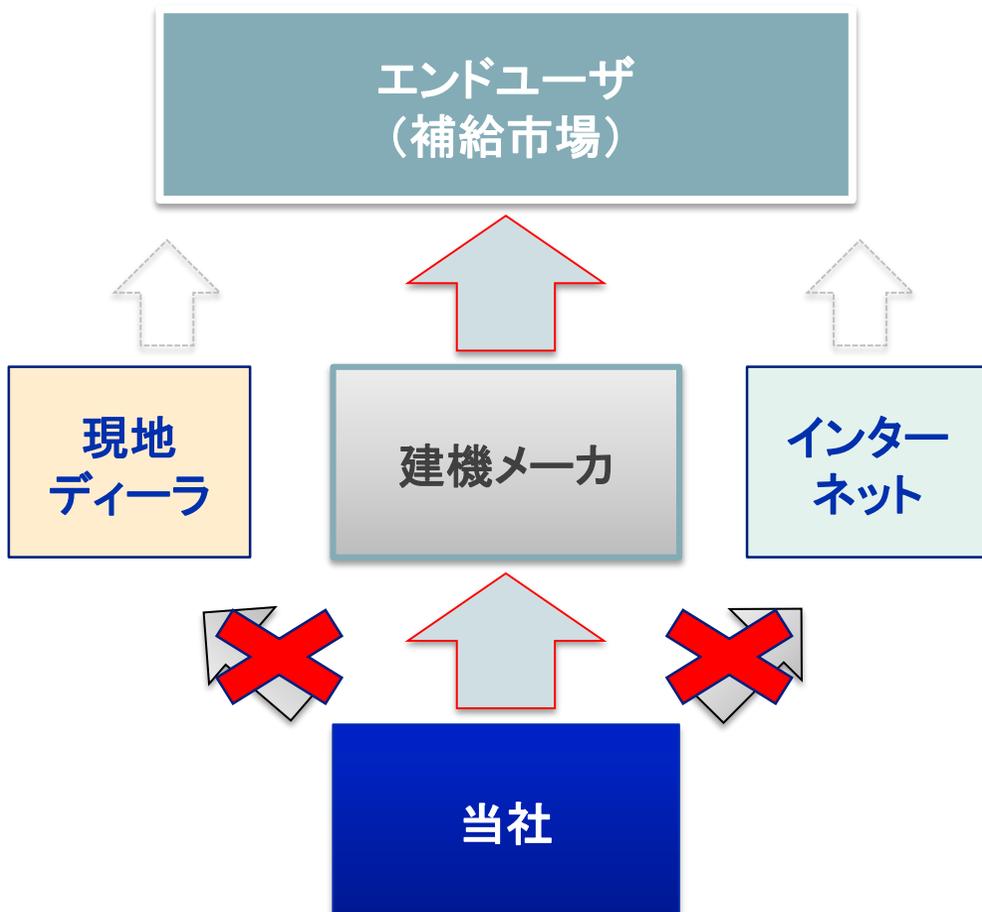
補給用フィルタ市場=建機稼働台数



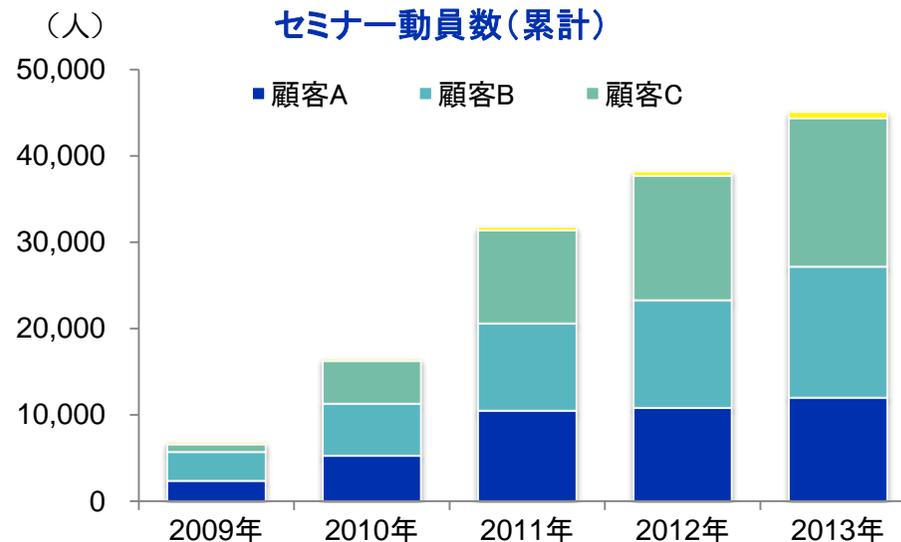
出所)各種公表情報から当社推計

■ 建機メーカーとの強固な信頼を構築し、新興国での純正率向上を図る

建機メーカーと市場で競合しない



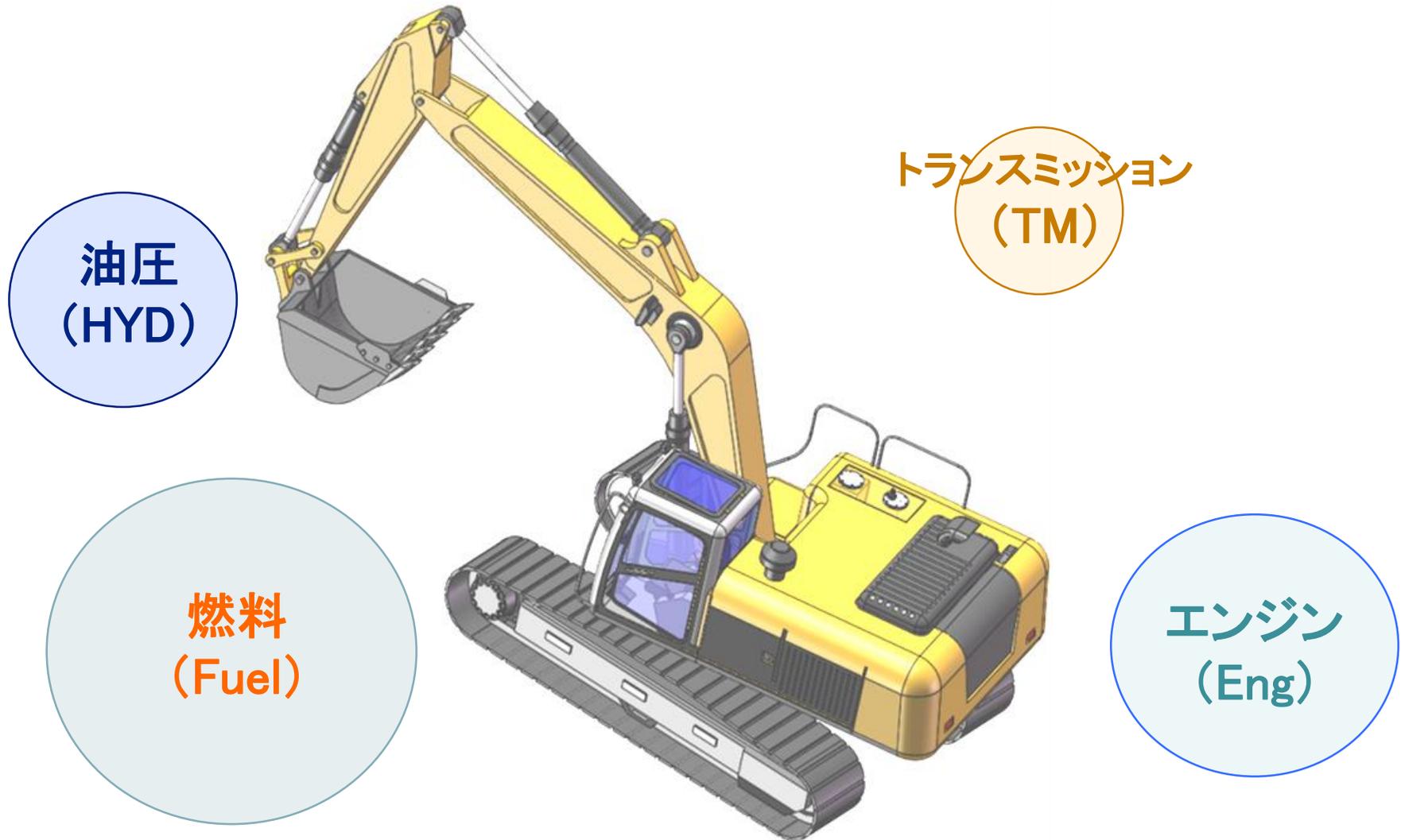
現地での純正フィルタ・セミナー活動



セミナーの様子(中国)

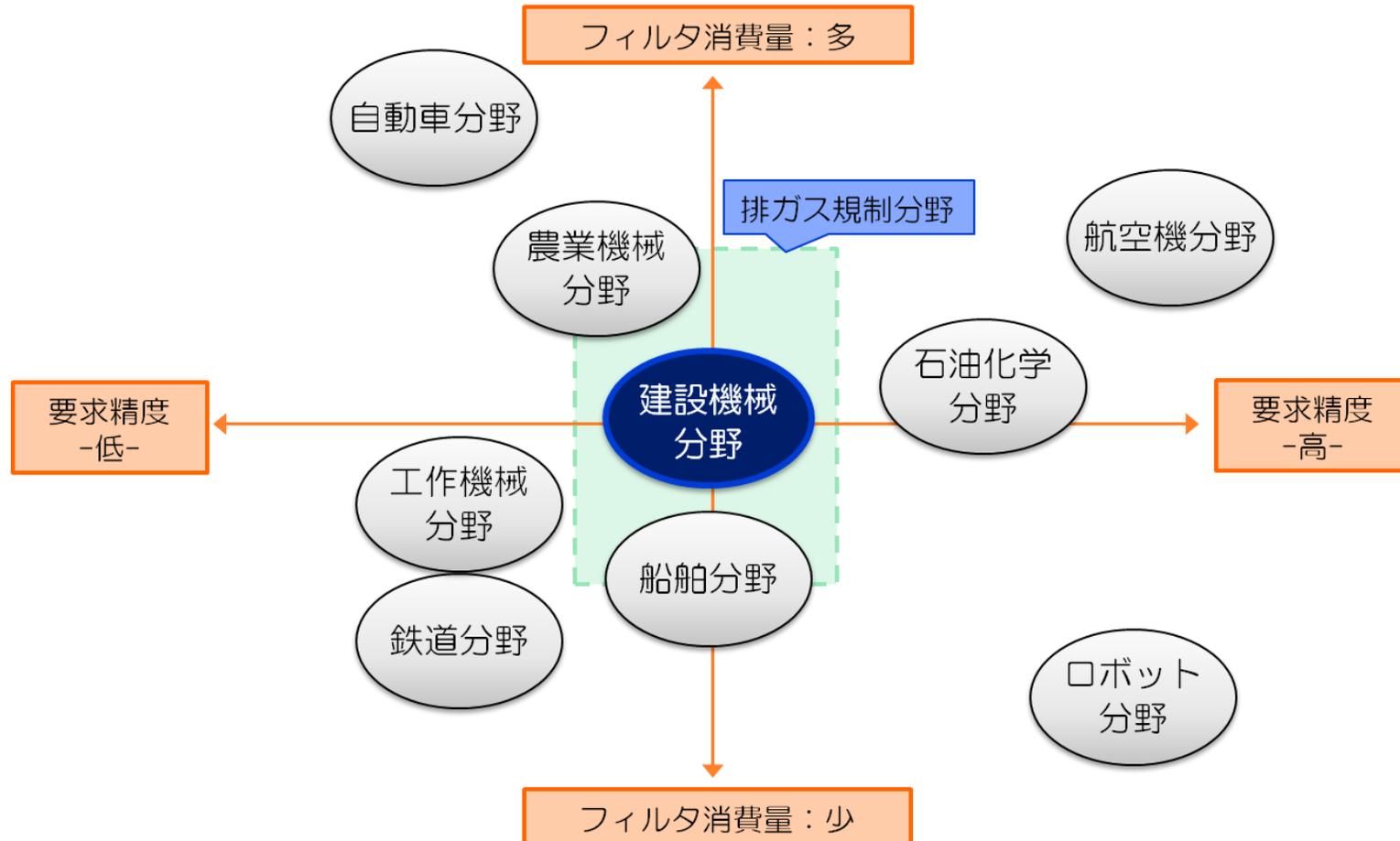
セミナー動員数
累計45,000人
を突破！

- 中長期的成長戦略: 油圧分野から周辺分野へ(下期は燃料用フィルタを展開)



- これまでのノウハウを最大限活用し、新分野の育成・開拓を目指す

フィルタ・マーケット



- 外部環境は、若干弱含みであるが通期業績予想は変更なし

(単位:百万円)	2014/3期 通期	2015/3期 通期	増減	
			金額	%
売上高	10,530	11,069	539	5.1%
売上総利益	4,440	4,719	279	6.3%
売上総利益率	42.2%	42.6%	0.5P	
販売管理費	3,730	3,902	172	4.6%
販管比率	35.4%	35.3%	△0.2P	
営業利益	710	817	107	15.1%
営業利益率	6.7%	7.4%	0.6P	
経常利益	709	787	78	11.1%
経常利益率	6.7%	7.1%	0.4P	
当期純利益	336	530	194	57.6%
純利益率	3.2%	4.8%	1.6P	

■ 株主還元と内部留保とのバランスを考慮しながら、安定した配当を行う予定

	13.3期 2012年4月1日 ～ 2013年3月31日	14.3期 2013年4月1日 ～ 2014年3月31日	15.3期 2014年4月1日 ～ 2015年3月31日
配当性向	—%* ¹	20.1%	19.7%* ²

*1 13.3期は赤字決算のため、配当性向を記載していません。

*2 現時点での予定で、定時株主総会の承認を前提としております。

<ご参考資料>

1.会社並びに事業概要

会社名	ヤマシンフィルタ株式会社
事業内容	建設機械用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタ 及び関連部品の製造・販売
設立	1956年4月5日(昭和31年4月5日)
代表者名	代表取締役社長山崎 敦彦(ヤマザキ アツヒコ)
従業員数	連結:344名,単体:116名
資本金	335百万円
所在地	〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町1-1-8 日石横浜ビル16F
認定・取得	ISO9001:2008(JIS Q 9001:2008)認証取得 ISO14001:2004(JIS Q 14001:2004)認証取得
経営理念	仕 濾 過 事 (ろ か じ に つ か ふ る) フィルタビジネスを通じて社会に貢献する

年月	内容
56年 4月	フィルタの製造販売会社として山信工業株式会社を資本金500千円で設立
75年 5月	佐賀県三養基郡上峰村に佐賀工場を開設
89年 4月	フィリピン セブ島に現地法人YAMASHIN CEBU FILTER MANUFACTURING CORPORATIONを設立
95年 7月	アメリカ シカゴにYAMASHIN AMERICA INCORPORATEDを設立
96年 4月	オランダ ロッテルダムにYAMASHIN EUROPE B.V.を設立
01年 2月	タイ アユタヤにYAMASHIN THAI LIMITEDを設立
07年 5月	中国上海にYAMASHIN FILTER SHANGHAI INCORPORATEDを設立
10年 9月	中国蘇州にYAMASHIN FILTER (SIP) RESEARCH & DEVELOPMENT CENTER INCORPORATEDを設立
10年 11月	YAMASHIN THAI LIMITEDの営業事務所をバンコクに開設
10年 12月	ベルギーブラッセルにYAMASHIN EUROPE BRUSSEL BVBAを設立
11年 10月	横浜開発センタを神奈川県横浜市磯子区に開設
12年 6月	佐賀県三養基郡上峰町にYSK株式会社を設立
14年 10月	東京証券取引所市場第二部へ上場

事業環境

建機メーカーの海外進出

建機の高性能化
 海外進出の加速
 環境保全運動の活発化

環境対応の高度化
 (排ガス規制の導入・強化)
 新興国市場の拡大
 IT化

販売拠点



ヤマシン・EU(YEB)



ヤマシン・タイ(YTL)



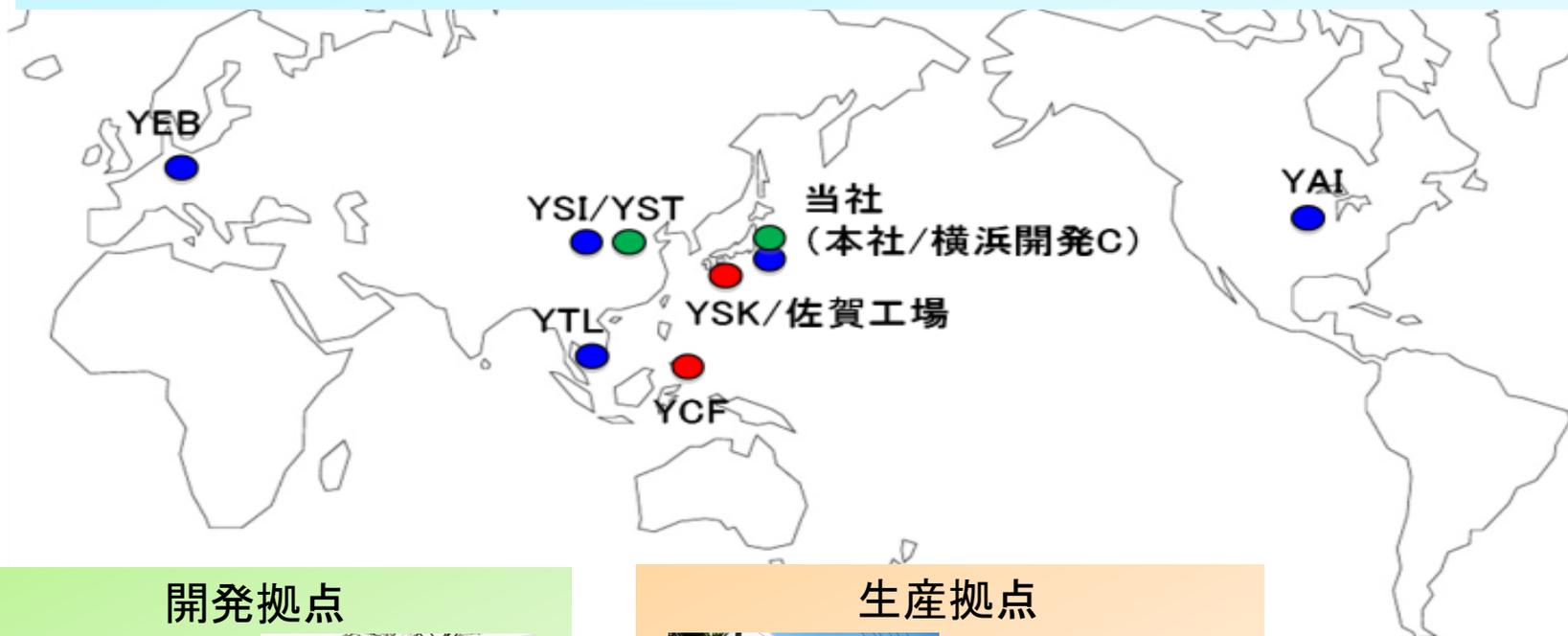
ヤマシン・アメリカ(YAI)



ヤマシン・上海(YSI)



本社



開発拠点



蘇州開発センタ(YST)



横浜開発センタ

生産拠点



フィリピン・セブ工場(YCF)

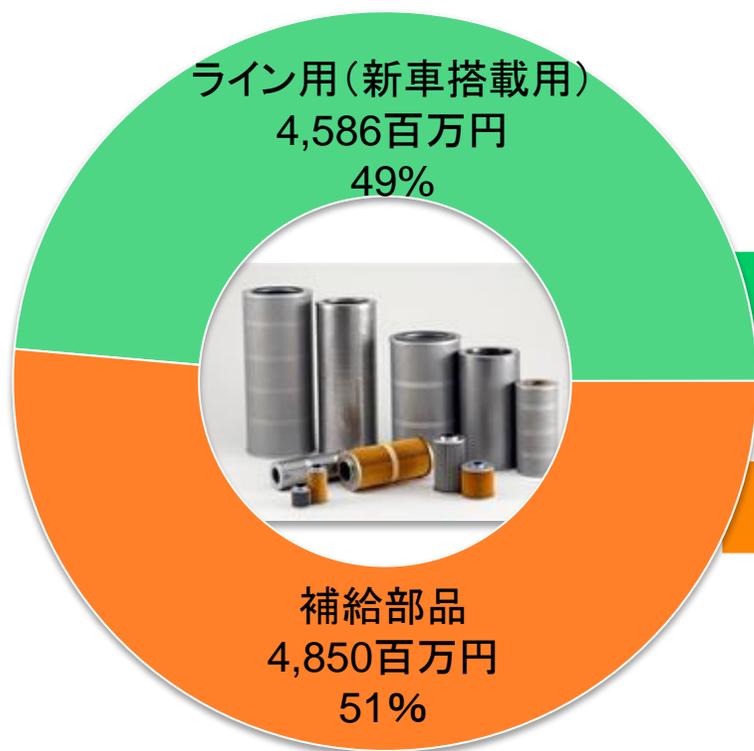


YSK/佐賀工場

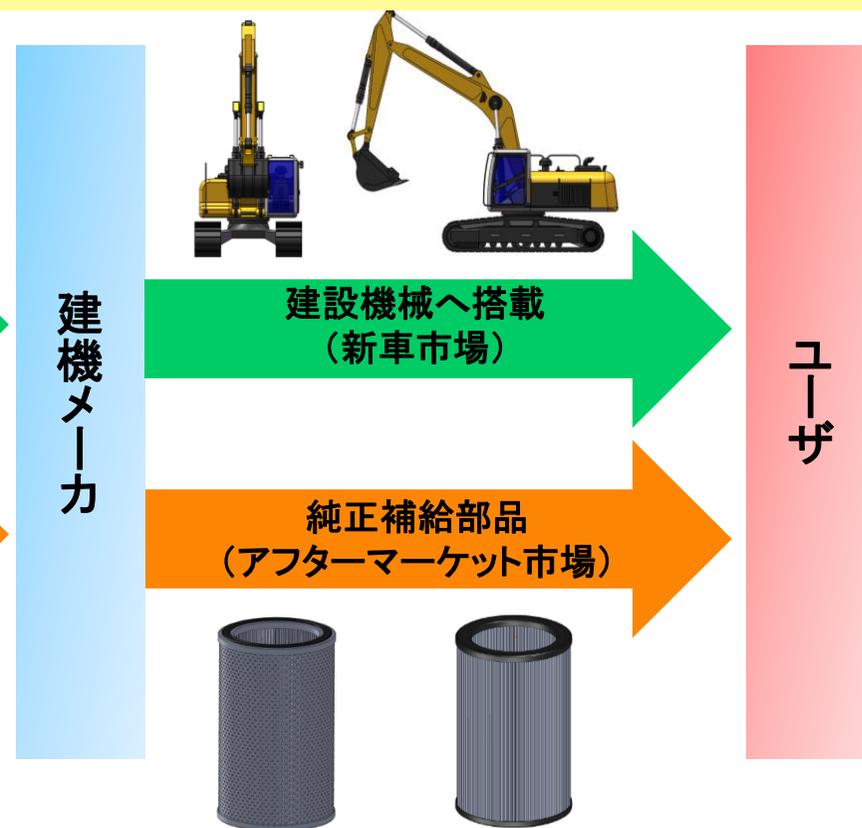
- 開発拠点
- 販売拠点
- 製造工場

- 製品の提供先は建機メーカーへ一本化（ユーザ直販等はしない）

14.3期 建機用フィルタ 売上高・構成比



ビジネス・フロー

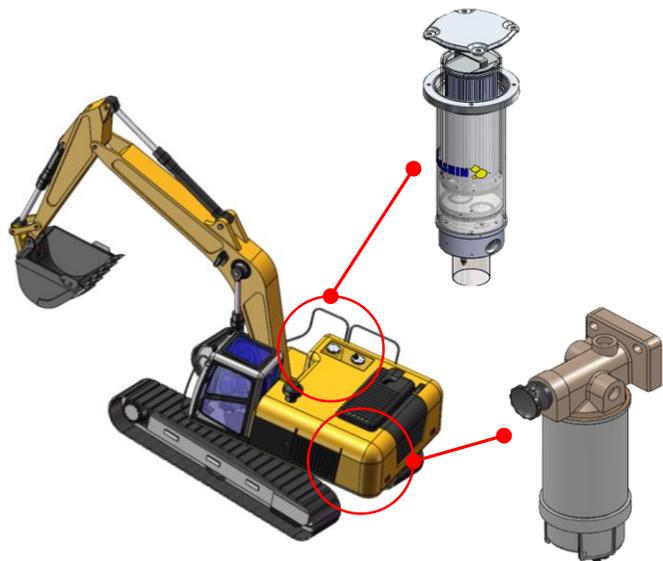


※ライン用とは新車搭載用のフィルタ、補給部品とは交換部品用フィルタを示しています

■ 油圧ショベル向け油圧フィルタの世界最大手

建機用フィルタ

- ▶ 建機用油圧フィルタで業界トップシェア
- ▶ 油圧回路の作動油、燃料のディーゼル・オイル、エンジン駆動に必要な潤滑油のろ過用フィルタを製造販売



産業用フィルタ

- ▶ 工作機械、プレス機械、鉄道車両、農機、船舶等多様な業界に機械用オイル・フィルタを提供



建機フィルタ
88%

産業
フィルタ
4%

プロセス
フィルタ
8%

14.3期
売上高
105.3億円

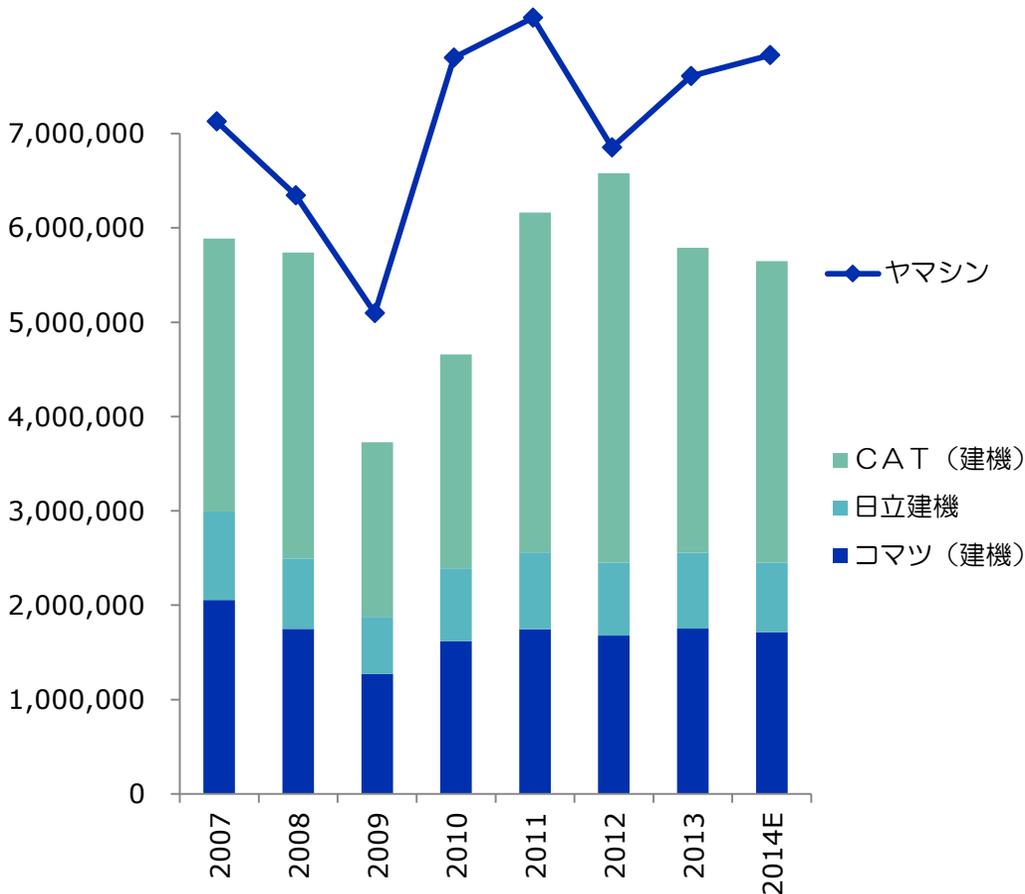
プロセス用フィルタ

- ▶ 電子部品、液晶、食品等の製造工程でのろ過・分離用フィルタを提供
- ▶ ナノレベルのろ過を実現

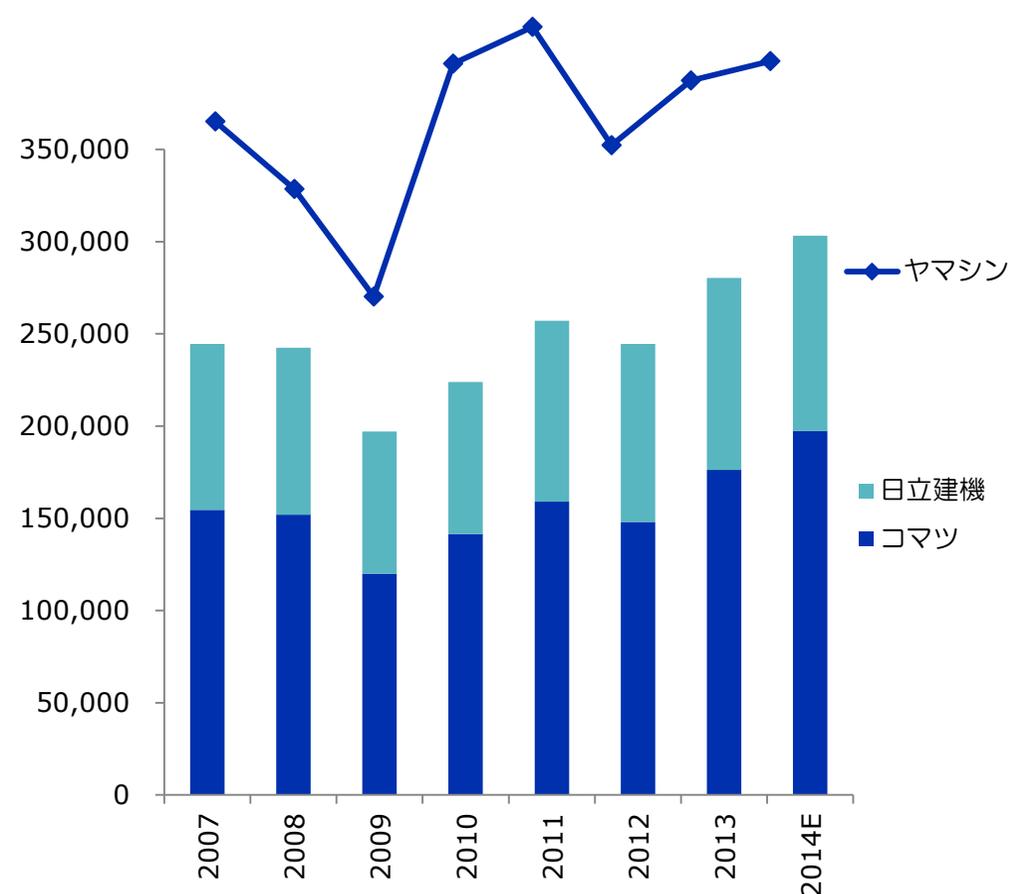


■ 当社の売上高は、建機メーカーの売上高と必ずしも一致しない

建機事業売上高推移(鉱山資源事業を含む)



部品事業売上高推移(建機事業を含む)



出所) 決算説明資料より (コマツは工作機械事業を除く、CATは金融・エンジン事業を除く)

■ろ材から開発するため、顧客にジャストフィットする製品が提供可能

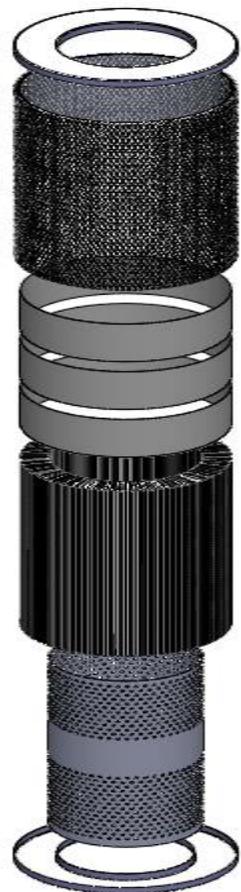
ろ材の開発機能

外筒
ろ材を保護する

バンド
ろ材を固定する

ろ材
ゴミを捕獲する
最重要部材

内筒
ろ材耐圧性を高める



構造・素材
の選定

開発コンセプト
の策定
(横浜開発センター)



試作

自社で試作・生産
(抄紙ライン)



性能評価

自社で性能評価
(マルチパス試験機)



■ 高い耐久性とニーズの製品化を両立させるノウハウを保有

■ 脈動による耐久性

建機を巡回する作動油は、動作によって流れる流量が変わる。リターンフィルタにはおよそ1000ℓ/分もの作動油が流れ込む場合もある

■ 油圧回路内の高い圧力

油圧回路内は圧力が非常に高い過酷な環境であるため、フィルタには約9トンもの負荷に耐える構造が求められる

当社フィルタ製品



蓄積されたノウハウ

■ 建機分野でのノウハウ

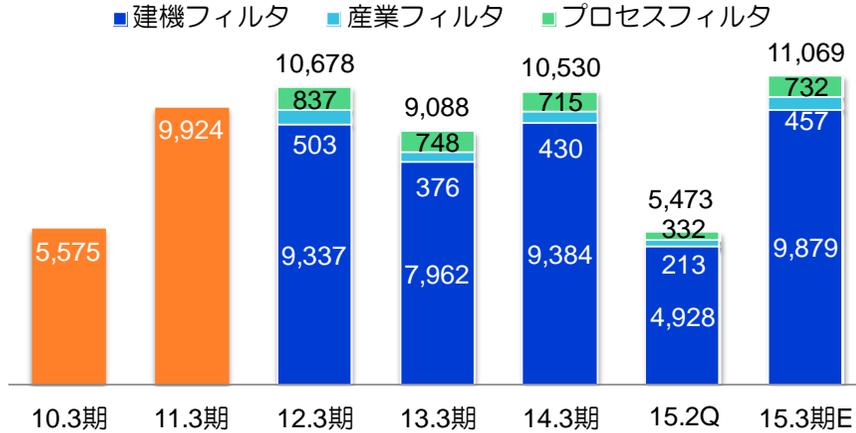
建機の国産化開始と同時期から現在に亘ってフィルタを手掛けてきた歴史

■ 他分野でのノウハウ

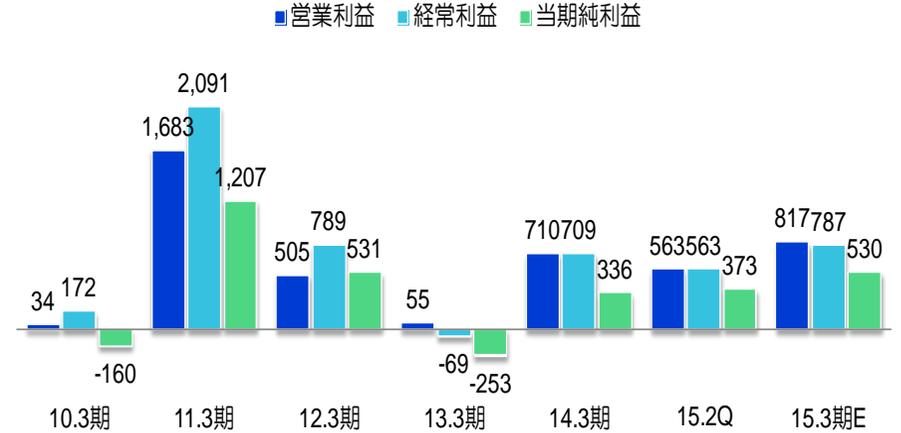
プロセス用・産業用と多種多様なフィルタを開発・提供してきた実績とノウハウの蓄積

2.財務ハイライト

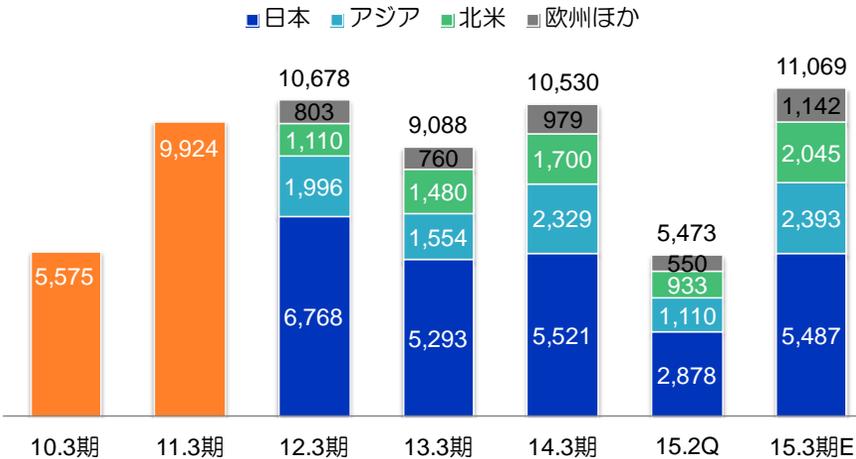
売上高 (百万円)



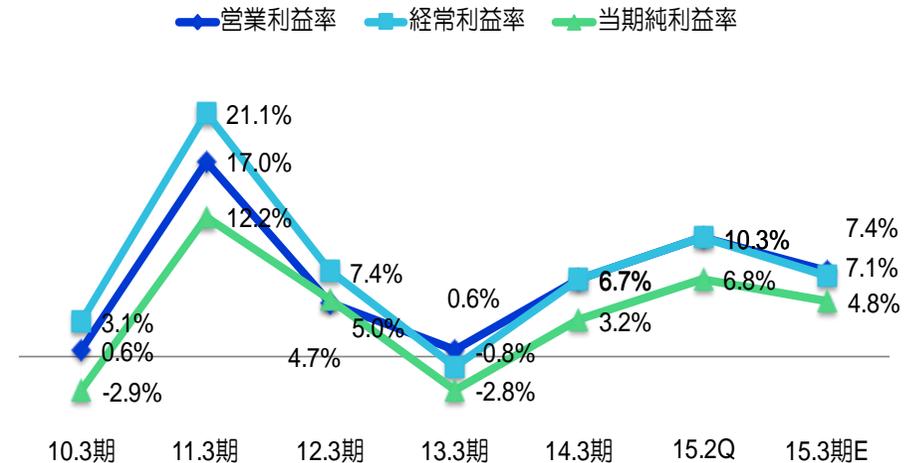
利益 (百万円)



地域別売上高 (百万円)

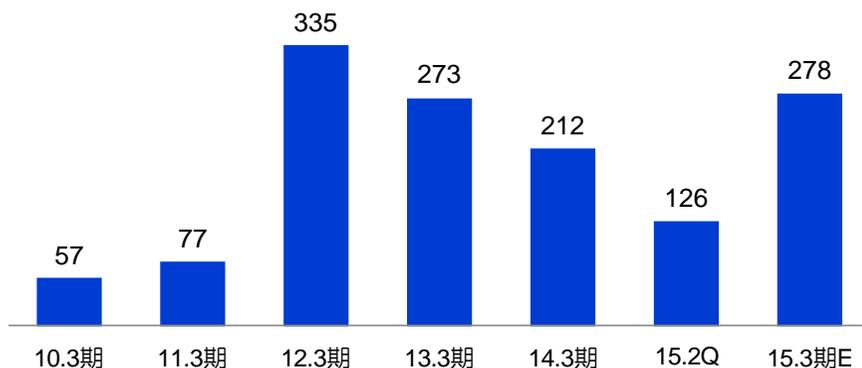


利益率 (%)

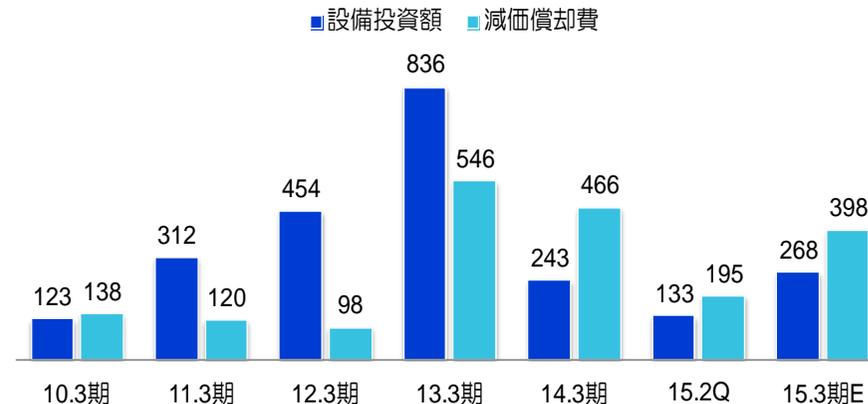


* 13.3期までは単体、14.3期は連結

研究開発費 (百万円)



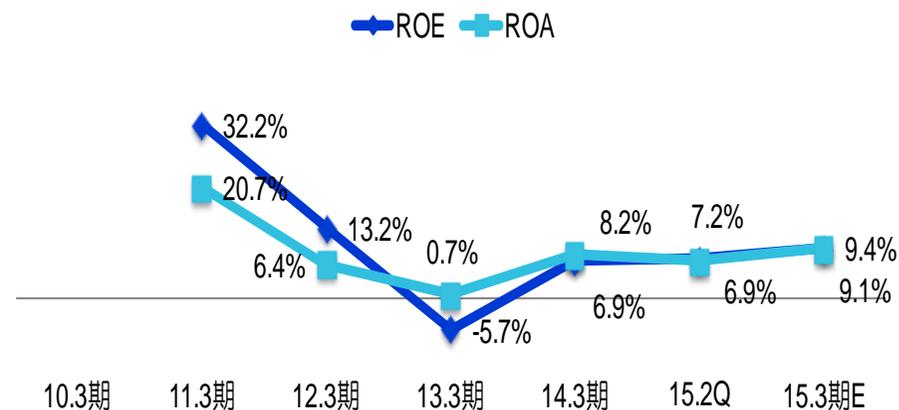
設備投資および減価償却費 (百万円)



純資産および総資産、自己資本比率 (百万円、%)



ROEおよびROA (%)



* 13.3期までは単体、14.3期は連結

- この資料に記載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は市場動向や業績情勢などの様々な要因等によって異なる可能性があります。

この資料に関するお問い合わせは
ヤマシンフィルタ株式会社 経営企画室まで

TEL (045-680-1671)
E-mail : ir@yamashin-filter.co.jp